

つばきめかんのん

椿姫観音

Tsubakihime Kannon
(Princess Tsubaki, Goddess of Mercy)

③ 悲運の城主、椿姫の伝説の地

The legendary site of Princess Tsubaki, the tragic castle lord.

亡き夫・飯尾豊前守に代わり、引馬城主となったお田鶴の方。しかし徳川勢との戦いの末、命を落とします。母同士が義理の姉妹にあたる築山御前(家康公の正室)は彼女の死を哀れみ、塚の周りに100株余りの椿の花を植えたといわれています。椿は毎年美しく咲き誇り、いつしか椿塚と呼ばれ、それが椿姫の名の由来になったと言ひ伝えられています。

引馬城

どうしょうぐう

東照宮

Toshogu Shrine
(Hikuma Ancient Castle Ruin)

今川家武將の居城であった引馬城現在では家康公を祀る東照宮に

The site of the Hikuma Castle ruins, the castle where military generals of the Imagawa clan lived at. The site has now been turned into a Toshogu Shrine which deifies Lord Tokugawa Ieyasu.

東照宮は1886(明治19)年に創建されました。石の鳥居の横に「曳馬城跡」と刻まれた史跡碑があります。社殿の扉や屋根には三つ葉葵の紋所が見られ、家康公を祭神としているお社であることを示しています。

1568(永禄11)年に三河から遠江に入った家康公は今川方の拠点であった引馬城を攻め入城し、城地を拡大し浜松城を築城しました。その後、引馬城の跡地には米蔵十数棟が建てられました。



徳川秀忠公

誕生の井戸

Birth Well of Tokugawa Hidetada

江戸幕府2代将軍、徳川秀忠公出生の地

The birth place of Lord Tokugawa Hidetada, the second shogun of the Edo Shogunate.

家康公の側室である西郷局が2代将軍秀忠公を生んだとき、産湯としてこの辺りにあった井戸水が使われたという伝承をもとに作られた井戸です。出生地とされる場所は2説あり、1説は浜松城二の丸の北。もう1説は現在のクリエート浜松西側付近であり、新川交番北側に石碑と石畳の小道が設置されています。



浜松八幡宮

Hamamatsu Hachimangu Shrine

家康公が逃げ込んだ大楠の洞

A burrow in a large camphor tree into which Lord Ieyasu ran and hid.

凜とした空気が漂う浜松八幡宮境内に茂る「雲立のクス」。三方ヶ原合戦で敗走してきた家康公がこの楠の洞に逃げ込み追手から身を隠していたところ、突然雲が立ち上がり、神霊が白馬に跨って浜松城へ飛び立ったのを見て勇躍した、という伝説からこの名がついたといわれています。樹齢1000年を超える御神木で、かつて家康公もこの木に武運を祈願したといわれています。



天下を統一し、江戸幕府(1603~1868)の礎を築いた将軍・徳川家康公

長きにわたり争いの絶えなかった戦国の世(日本)。今川、毛利、上杉、武田など強大な戦国大名が群雄割拠する戦国時代において、織田信長と同盟を結び、耐え難きを耐え、次第に武力と知略を貯え、後に天下取りの夢を果たし、徳川幕府の礎を築き上げたのが徳川家康公です。

徳川家康公が、青壮年期の17年間で過ごした浜松城は後に出世城として有名に

徳川家康公は、1570年に浜松城を築城し、青壮年期の29歳から45歳までの17年間で浜松で過ごしました。この間には、生涯最大の敗戦ともいわれる「三方ヶ原合戦」などの苦難を経て多くのことを学び、家康公は、浜松の地で天下取りの第一歩を歩み始めます。

また、江戸時代、歴代の浜松城主からは、幕府の要職である「老中」や、「京都所司代」等に抜擢される人物が多く輩出されたことから、後に「出世城」と呼ばれるようになりました。浜松城をはじめとするいくつかのスポットはパワースポットとしても注目されています。

Lord Tokugawa Ieyasu, the Shogun who established uniting the country and establishing the footing of the Edo Shogunate (1603-1868)

During the longstanding period of constant military conflicts known as the era of the warring states, Lord Tokugawa Ieyasu established the foundation of the three-hundred-year-long Tokugawa Shogunate. While intense rivalry of warlords existed between great daimyos such as Imagawa, Mouri, Uesugi and Takeda, Lord Tokugawa strategically formed an alliance with Lord Oda Nobunaga and attained military power and ingenuity as he overcame calamities and ultimately succeeded in achieving his dream of conquering Japan.

Hamamatsu Castle, the place where Lord Tokugawa Ieyasu spent 17 years of his prime years, has come to be known as the famous Castle of Success.

Lord Tokugawa Ieyasu built Hamamatsu Castle in 1570 and between the ages of 29 and 45, he spent 17 years of his prime years in Hamamatsu. During this period, through the many calamities he endured, such as the Battle of Mikatagahara, said to be the worst war defeat in his life, Lord Tokugawa Ieyasu was able to learn immeasurable knowledge. Hamamatsu was the land where Lord Tokugawa Ieyasu began his first steps in conquering the country. Hamamatsu Castle has come to be known as the Castle of Success after a number of lords of the castle in the Edo Period were chosen to take up important executive positions in the shogunate, such as Roju (Elder: one of the highest-ranking government posts) and Kyoto Shoshidai (Vicegerent of government in Kyoto). In addition, a number of sites across the city, such as the Hamamatsu Castle, are gaining attention as spiritual spots.



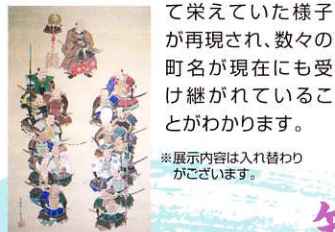
はままつし はくぶつかん
14 浜松市博物館
 Hamamatsu City History Museum

浜松の歴史を伝える博物館
 家康公や浜松城下の資料も展示

A museum where the public can discover the history of Hamamatsu; documents of Lord Tokugawa Ieyasu and the Hamamatsu castle town are also on display.

ナウマンゾウの骨格標本も人気の浜松市博物館は、1979(昭和54)年、蛸塚遺跡のあるこの地に開館しました。「原始～中世～近世～現代」と展示物で浜松の歴史を知ることができます。

徳川家康公関連の代表的な資料に「徳川十六将図(徳川四天王)」や「家康直筆の書状」などがあります。また当時の「浜松城下のジオラマ模型」では、浜松が「東海道の宿場町(城下町)」として



※徳川十六将図(浜松市博物館所蔵)

たち あらい いけ
15 太刀洗の池
 Tachiari no Ike
 (Sword Cleansing Pond)

家康公の正室・築山御前を
 切った太刀を洗った伝説の池

The legendary pond where the sword that was used to kill Lord Tokugawa Ieyasu's first wife, Lady Tsukiyama, was cleansed at.

1579(天正7)年、家康公の正室・築山御前と長男・信康が敵方と内通したとの疑いから、織田信長の命令で、家康公は2人の処刑を家臣に命じたといわれています。岡崎城から浜松城へ向かうため佐鳴湖を船で渡った築山御前は、待ち伏せしていた家康公の家臣により命を奪われ38年の短い生涯を閉じました。その刀の血を洗ったのが太刀洗の池、亡くなった場所が御前谷と呼ばれています。現在太刀洗の池は埋め立られ、少し離れた浜松医療センター駐車場の片隅に碑が残っています。



せいらいん
12 西来院
 Seiraiin Temple

38才で生涯を閉じた家康公の正室
 築山御前が眠る寺

The temple that enshrines Lady Tsukiyama, Lord Tokugawa Ieyasu's first wife whose life ended at the age of 38.

西来院には、謀反の疑いから佐鳴湖畔で38歳の生涯を閉じることとなった家康公の正室・築山御前の霊廟(月窟廟)がおかれています。またその近くには家康公の異父弟の松平源三郎康俊の墓もあります。毎年4月下旬～5月上旬には本堂前庭の藤が美しく咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。



築山御前
 つきやま

そうげんいん
13 宗源院
 Sougenin Temple

徳川家ゆかりの武将が眠る古刹

An old temple where military commanders that was associated with the Tokugawa clan are enshrined at.

宗源院は、普濟寺13派のうちに数えられる歴史の古い曹洞宗の寺院です。境内には三方ヶ原合戦の際に奮戦し討死にした成瀬正義や外山小作、遠藤右近など徳川方の武将のお墓があります。また、今川義元直筆の市指定文化財「今川公判物」も保管されています。寺の東南一帯に的場があり、家康公が在城当時ここで弓の稽古に励んだといわれています。



なつめ じろうざえもん よしのぶ ひ
10 夏目次郎左衛門吉信の碑
 The Monument of
 Natsume Jirozaemon Yoshinobu

家康公の身代わりとなった勇猛な
 家臣

A monument to commemorate the valiant warrior who sacrificed himself by Lord Tokugawa Ieyasu in the Battle of Mikatagahara.

夏目吉信は、1563(永禄6)年の三河一向一揆の時に捕らえられ処刑されるところを、家康公の寛大な処置により助けられました。以来この恩義を忘れることが無かった吉信は、三方ヶ原合戦の際、主君家康公の身代わりとなって敵陣の前に立ちはだかり、討死にしたといわれています。



ふさいじ
11 普濟寺
 Fusaiji Temple

遠江における曹洞宗の古刹の
 ひとつ

One of the old temple of the Soto sect in Totomi.

普濟寺は、遠江における曹洞宗の拠点となるお寺です。当初は現在の中区寺島町付近にありましたが、現在の場所へ移転し、広沢山普濟寺と山寺号を改めました。三方ヶ原合戦では、兵火にあって伽藍が炎上、その後も災禍により被害を受けましたが、再建されました。なお山門は江戸時代初期に建立されたといわれています。



ほんだ ひごのかみ たださね ひ
8 本多肥後守忠真の碑
 The Monument of
 Honda Higonokami Tadazane

三方ヶ原合戦で自ら殿(しんがり)を
 努めた英雄

A monument to commemorate the hero who voluntarily took on the role of rear guard during the Battle of Mikatagahara.

犀ヶ崖資料館の敷地内の東に、本多肥後守忠真の戦功の碑があります。後に「徳川四天王」の1人として名高い本多忠勝は、忠真の甥にあたる人物です。武田軍との戦いで敗戦が濃厚になった際、忠真は主君家康公の命を守るため、自ら殿(しんがり)を買って出て、武田軍の猛追撃を食い止め、徳川本隊の後退を守りきりましたが、刀一本で敵中に斬り込み討死にしたといわれています。



さいが がけ こせんじょう
9 犀ヶ崖古戦場
 Saigake Historic Battlefield

武田信玄に一矢報いた古戦場跡
 The ruins of the historic battlefield where Lord Tokugawa Ieyasu took revenge on Lord Takeda Shingen.

三方ヶ原合戦で大敗を喫し、命からがら浜松城に帰りついたその夜、家康公は武田信玄に一矢報いるべく、鉄砲隊をひきいて夜襲をかけました。地理不案内な武田軍は混乱し、次々と犀ヶ崖の深い谷に転落し、多くの命を失ったと伝えられています。

また、ここではこの戦いによる死者を弔うための「遠州大念仏」が毎年お盆の時期に行われています。



いやす こう よろいかけ けつ
6 家康公鎧掛松
 Ieyasu's Yoroikakematsu
 (Pine tree where Tokugawa Ieyasu hung his armor)

負け戦から逃げ帰り、
 安心して鎧を掛けた伝説の松

The legendary pine tree where Lord Tokugawa Ieyasu was able to calmly take off his armor and hang it on the pine tree after escaping from a defeated battle of Mikatagahara.

市役所の西側にある「鎧掛松」。この松は三方ヶ原合戦に負け、浜松城に逃げ帰った家康公が、鎧を脱いでその松に掛けたといわれていることからその名がつけられました。現在の松は3代目にあたり、初代の松は浜松城内の堀の近くにあったといわれています。また、当時鎧掛松近くの清水で、合戦で疲れた馬のからだを冷やしたことから、松城町に馬冷(うまびやし)という地名が今も残っています。



はままつじょう
7 浜松城
 Hamamatsu Castle

徳川15代の礎を築いた出世城
 野面積みの石垣が往時を物語る

The castle of success that became the foundation of 15 generations of Tokugawa shoguns. The Nozura-zumi stone walls (built with natural stones) tell stories of the past.

遠江の経路拠点としては引馬城が手狭であったことから、家康公は西南の丘陵地に大規模な築城を行いました。1570(元亀元)年に家康公が浜松城に入城した際に、引馬を浜松と改めたといわれています。現在残っている遺構は天守曲輪を中心とする一帯で、荒く組まれた「野面積み(のづらづみ)」の石垣は、ほぼ戦国時代そのままの姿で残っています。現在の天守閣は昭和33年に、天守門は平成26年に建てられました。

ごしゃ じんじゃ すわ じんじゃ
5 五社神社・諏訪神社
 Gosha Shrine & Suwa Shrine

徳川家の歴史と深く関わる子育て
 神社

Shrines that deity child-protecting spirits and have deep connections with the Tokugawa clan.

五社神社は、もともと浜松城内に祀られていましたが、2代將軍秀忠公の産土神(うぶすながみ:生まれた土地を守護する神)として家康公の命で現在の地に遷座しました。また、諏訪神社は3代將軍家光公の命により現在の場所に遷座。徳川家から崇敬されてきた両神社は、1960(昭和35)年に1つの神社として合祀されました。子守り・子育ての神様としての信仰も厚く、現在では七五三の時期になると綺麗に着飾った子どもたちや家族で賑わいます。

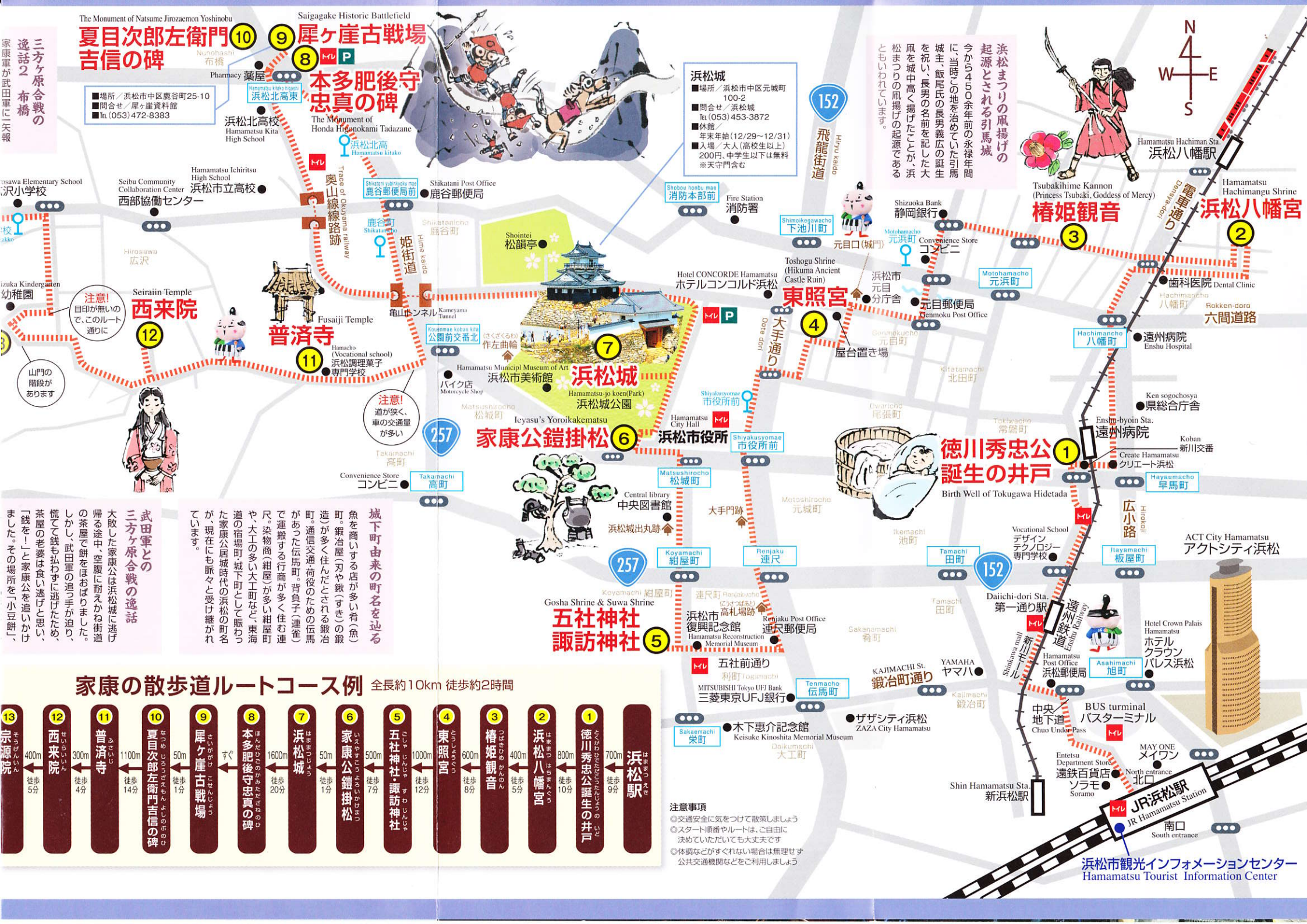


三方ヶ原合戦
 みかたがはら かつせん



徳川家康「三方ヶ原戦役画像」複製(原本 徳川美術館所蔵)

「三方ヶ原戦役画像」は、家康が三方ヶ原合戦で武田信玄に敗れ、浜松城に逃げ帰った直後に描かせたとされます。唇をへの字に曲げ、目玉はギョロッと焦点も定まらない、悲愴感たっぷりこの画を家康は生涯大切に、「敗北」を自戒したといえます。



The Monument of Natsume Jirozaemon Yoshinobu

夏目次郎左衛門 吉信の碑

■場所 / 浜松市中区鹿谷町25-10
■問合せ / 犀ヶ崖資料館
■Tel (053) 472-8383

Saigakke Historic Battlefield

犀ヶ崖古戦場

本多肥後守 忠真の碑

The Monument of Honda Hidenokami Tadazane

浜松北高

Hamamatsu Kita High School

奥山線跡

Trace of Okuyama railway

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

奥山線跡

武田軍との三方ヶ原合戦の逸話

家康の散歩道ルートコース例 全長約10km 徒歩約2時間

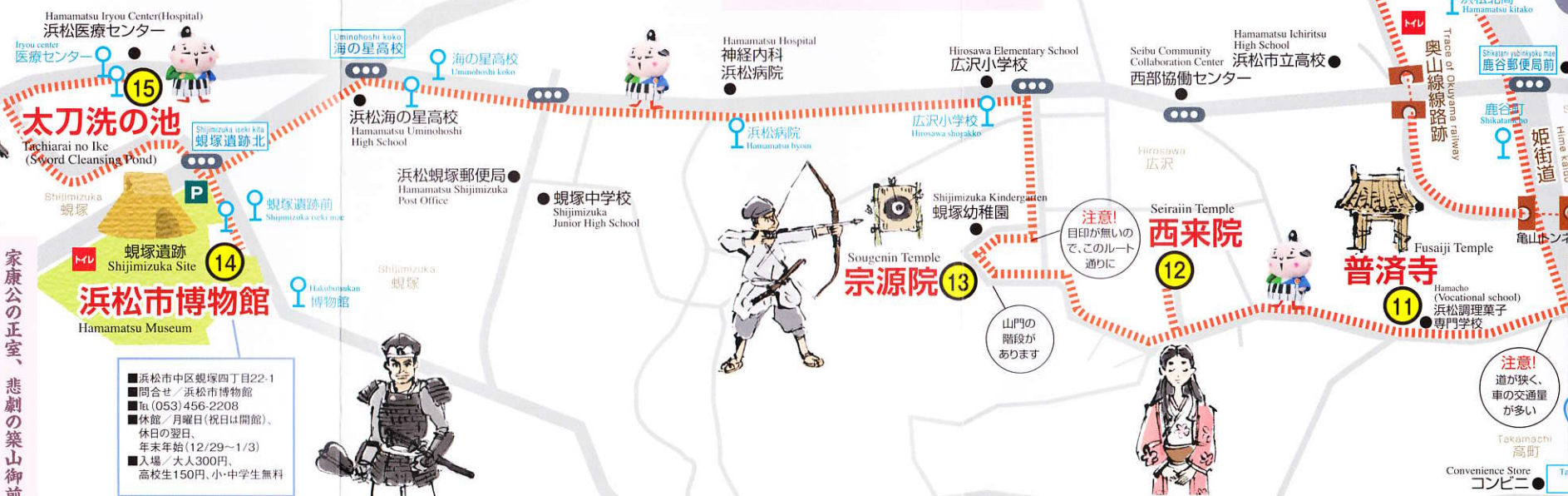
- 13 宗源院 400m 徒歩5分
- 12 西来院 300m 徒歩4分
- 11 普濟寺 1100m 徒歩14分
- 10 夏目次郎左衛門吉信の碑 50m 徒歩1分
- 9 犀ヶ崖古戦場 1600m 徒歩20分
- 8 本多肥後守忠真の碑 50m 徒歩1分
- 7 浜松城 500m 徒歩7分
- 6 家康公鑑掛松 500m 徒歩7分
- 5 五社神社・諏訪神社 1000m 徒歩12分
- 4 東照宮 600m 徒歩8分
- 3 椿姫観音 400m 徒歩5分
- 2 浜松八幡宮 800m 徒歩10分
- 1 徳川秀忠公誕生の井戸 700m 徒歩9分

注意事項
◎交通安全に気をつけて散策しましょう
◎スタート順番やルートは、ご自由に決めていただいても大丈夫です
◎体調などがすぐれない場合は無理せず公共交通機関などをご利用しましょう

浜松市観光インフォメーションセンター
Hamamatsu Tourist Information Center

家康の散歩道とは、「浜松」に今も残る徳川家康公ゆかりの地を歩いて巡るコースです。
家康公の軌跡と戦国の歴史を感じながら、ゆっくりと歩いてみませんか。

Tokugawa Ieyasu's Promenade Walk is a course that goes around sites that have connection with Lord Tokugawa Ieyasu that are still intact in Hamamatsu. Let's try taking a walk on this course to follow the footsteps of the great lord and experience the history of the warring state period.



家康公の正室、悲劇の築山御前
築山御前は、今川家門の関口義広と今川義元の妹の間に生まれ、本名は蒲名。今川家の入贅だった松平元信(徳川家康)と義元の命により結婚をし、長男信康を産みます。後に信康と織田信長の長女徳姫が結婚しますが、徳姫が信長に武田家と築山御前の内通の疑いを訴えたことにより信長は激怒し、信康と築山御前の処罰を家康公に命じたとされます。
築山御前は佐鳴湖畔で家康公の家臣により殺害されました。享年38歳。
長男 信康は二俣城(現浜松市天竜区)にて自刃(切腹)しました。享年21歳。



武田軍との三方ヶ原合戦の逸話
大敗した家康公は浜松城に逃げ帰る途中、空腹に耐えかね街道の茶屋で餅をほおばりました。しかし、武田軍の追手が迫り、慌てて餅も払わずに逃げたため、茶屋の老婆は食い違いと思い、「銭を！」と家康公を追いかけました。その場所を「小豆餅」、追いついた場所を「銭餅」と呼ぶようになったと伝えられています。

城下町由来の町名を巡る
魚を商いする店が多い(魚)町。鍛冶屋(刃や鉄(すき)の鍛造)が多く住んだとされる鍛冶町。通信交通荷役のための伝馬があった伝馬町。背負子(運賃)で運搬する行商が多く住む連尺。染物商(紺屋)が多い紺屋町や、大工の多い大工町など、東海道沿線の町々として賑わった家康公居城時代の浜松の町名が、現在にも脈々と受け継がれています。

没年				誕生			
1616	1615	1605	1603	1542	1549	1555	1560
1590	1600	1590	1582	1570	1578	1583	1588
1570	1572	1575	1582	1570	1578	1583	1588

45歳				29歳			
1582	1584	1586	1588	1570	1572	1575	1579
1582	1584	1586	1588	1570	1572	1575	1579
1582	1584	1586	1588	1570	1572	1575	1579

浜松城 居城時代				徳川家康公 年表			
1582	1584	1586	1588	1542	1549	1555	1560
1582	1584	1586	1588	1570	1578	1583	1588
1582	1584	1586	1588	1570	1578	1583	1588

徳川家康公 年表

